

◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：ハチドリくらぶ

代表者：代表 嶋田照子

URL : <http://ccs0527.wix.com/hachidori>

1. 活動が必要とされた状況

平成 24 年の熊谷市の市民一人（一日）あたりのごみ量が、1,159 g で埼玉県一多いと新聞報道されたのを受けて、当団体では、ダンボールコンポストを使っただけの生ごみ減量に取り組むこととした。安く手軽、土地が無くても実施可能なダンボールコンポストの長所を生かして、市民が取り組むことでごみ減量をめざした。平成 27 年度は、普及拡大を図るためインストラクターの養成を目指すことを内容とした。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

平成 27 年度の活動では、講習会受講者の中から、インストラクター希望者を募り、利用者 1,000 人をめざした。インストラクター 20 人ごとに、利用者 50 人を受け持てば、20 人×50 人=1,000 人になる見通しであった。

(1) ダンボールコンポスト講習会

平成 27 年 6 月 23 日：7 名 7 月 4 日：9 名 7 月 30 日：4 名
8 月 13 日：3 名 8 月 29 日：7 名と 6 回開催して、合計 34 人の参加があった。



(2) 講習会受講者の親睦会

その後受講者を集めて、平成 27 年 9 月 26 日（土）に市立商工会館で懇親会を開催したところ、7 名が参加した。その中でインストラクターの意志を確認した結果、3 名から表明があった。

(3) インストラクターによる講習会

インストラクターとして人前で講義して、その後の指導を行える技量が身につくには、数回研修を行った程度では、なかなか難しく、結局今年度は、実現できなかった。

今後は、公民館等の講座の中にセットしてもらうように働きかけていくこととしたい



3. 活動の成果

今回の助成事業では、生ごみの減量のためダンボールコンポスト利用者 1,000 人位の利用者が必要であるため、インストラクター 20 人が 50 人の利用者を開拓することとしたが、インストラクターの養成が十分できなかったため、目標を達成できなかった。必要なテキストも完成には至らなかったが、利用者の質問に即応するホームページは開設できた。

4. 今後に残された課題

今後も、インストラクターの養成は、必要であるため引き続き実施することとしたい。利用者 1,000 人を確保するために、モニターを募集することとしたい。例えば、夏休みの小学生の自由研究のテーマとして募集すれば、市内の小学校の各家庭に普及でき、1,000 人の目標に近づくことが可能となる。

さらに、標準のダンボールやコンポストの材料（基材）確保と出来た堆肥を利用するための循環農園など課題がある。一歩ずつ実現し、熊谷市のごみ減量に協力していきたい。